

福島県立光南高等学校

令和4年度入試要項説明会

と き 令和3年11月13日(土)
10時00分～11時30分
ところ 本校第1体育館

【次第】

- | | | |
|---|------------------------|--------|
| 1 | 開会のことば | |
| 2 | 校長挨拶 | 10:00～ |
| 3 | 入試要項の説明 | 10:15～ |
| 4 | パーソナルプレゼンテーション(PP)について | 10:40～ |
| 5 | 指定部活動型について | 11:00～ |
| 6 | 質疑応答 | 11:10～ |
| 7 | 閉会のことば | |

【配付資料】

- | | |
|--------------------------------|-------|
| ○光南高校の最新情報 | 1ページ |
| ○光南高校の新しいカリキュラム | 3ページ |
| ○光南高校の令和4年度特色選抜の概要 | 4ページ |
| ○光南高校の入試等に関する質問 Q&A | 5ページ |
| ○令和4年度福島県立光南高等学校入学者選抜前期選抜募集要項等 | 7ページ |
| ○メモ | 20ページ |
| ○令和4年度入試要項説明会アンケート | 21ページ |

臨時バス運行時間 往路9:05(矢吹駅発) 復路11:50(本校前)





光南高校の最新情報

1 魅力あふれる6つの系列（系列とは選択科目群のことで系列毎にクラス編成）

（1）文理進学系列 ⇒ 令和4年度から探究活動も重視する文理探究系列に変わります！

文系・理系両方の進学に対応。課外や添削のきめ細かな指導で大学（福島大3名（R2）会津大2名（R1））や看護学校（白河厚生指定校）等の進路実現。今後探究活動で進学も。

（2）体育系列 ⇒ 令和4年度からICT活用し科学的に学ぶスポーツ科学系列に変わります！

専門の体育教員が指導する部活動と連動した授業やプロコーチが指導するゴルフの授業。丁寧な進路指導で体育大学や企業・公務員に合格。新たにダンスも実施予定。

（3）家庭系列 ⇒ 令和4年度から系列名は変わりませんが探究活動やICT活用を推進！

ケーキクッキングやファッション造形など実習中心の授業が充実。将来役立つ資格取得（保育・食物・被服1級合格）も充実。保育園・幼稚園実習や栄養教諭の授業を開催。

（4）情報ビジネス系列 ⇒ 令和4年度から系列名は変わりませんが体験的にビジネス・スキルを磨く！

商業高校と同じように本格的な商業が学べ、資格取得（簿記、ビジネス文書、情報処理）も充実。地域と連携した販売実習（光南商店）等により実践的にビジネスを学ぶ。

（5）テクノアート系列 ⇒ 令和4年度からより幅広く学ぶ芸術系列（音楽・美術）に変わります！

ピアノ・デッサン等アナログの基礎から、シンセサイザー・ミュージック・コンピュータグラフィックス等デジタル分野まで幅広く芸術を学ぶ。イベント・展覧会も参加。

（6）福祉介護系列 ⇒ 令和4年度から介護も含め幅広く福祉を学ぶ福祉系列に変わります！

社会福祉協議会と連携した活動や資格取得（認知症、住環境、手話）などにより、確かな知識と技術を身に付け福祉系進路を実現。出前講座やボランティア活動も実施。

2 最新の進学・就職の状況（令和2・3年3月卒業生（2年間）の合格状況R3.3.12現在）

国公立大学6名（福島大4名・会津大2名）、私立大学58名、短期大学37名、専門学校132名、就職137名、公務員7名（行政事務・警察等）、その他1名（劇団）

※今年（令和3年度）の3年生も進学・就職ともに全員合格を目指し、全力で取り組んでいます。

3 県のICT活用モデル校に指定（県内随一のICT環境のもと先進の教育を推進）

ICT活用モデル校（光南高・安積高・福島高など）に指定され、校舎内Wi-Fi完備（体育館舎）、全教室プロジェクター設置、パソコン室5室（Windows3室、Mac2室）・貸出用タブレット整備、BYOD（個人端末）活用などで、情報活用能力と学力の向上を図る。

4 施設・設備の整備（今年度から南校舎（旧校舎）の内部全面リフォームに向け設計開始！）

- （1）調理室ガスコンロを一新し、全て新品のガスオーブン一体型コンロに交換（R1）。
- （2）最新の電動福祉ベッドを新たに導入（授業選択者数が増えても実習可能）（R2）。
- （3）校舎内トレーニング室を新たに整備（武道場・屋外ハウスに加え3箇所目）（R2）。
- （4）エアコン増設（これまでの普通教室に加え、10特別教室に新たに設置）（R1・3）。
- （5）授業や部活動の充実のため、体育館と武道場の照明を全てLED化実施（R2）。
- （6）シンセサイザー・電子ピアノ・ペンタブ・ドローンなど音楽・美術備品整備（R1～3）。
- （7）オンライン配信装置やアクティブラーニング教室（最新パソコン）を整備（R2・3）。
- （8）コロナ対策物品や階段手すり・体育館洋式トイレなど安全安心にも配慮（R2・3）。

5 生徒の教育を支える体制が充実（外部の支援により他校にはない学びの環境を実現）

- （1）矢吹町・やぶき経営懇話会との連携協定により、進路学習や体験活動などが充実。
- （2）社会福祉協議会や青少年自然の家、社団法人などの協力により探究活動が充実。
- （3）社会人講師による陶芸・手話・点字・介護・デジタルミュージック等の授業が充実。
- （4）学術教育振興財団やパナソニック教育財団の支援でICTや音楽の教育が充実。
- （5）外部指導者の指導により、吹奏楽部・華道部・チアリーダー部などの活動が充実。
- （6）地域の方や民間企業、学校を応援してくれる光南ファンの方々からの支援が充実。

- 6 充実した学校行事（コロナ対策を徹底し極力行事を中止にせず生徒の活動を大切にしたい）
 4月:新入生歓迎会、5月:生徒総会・壮行会、7月:スポーツ大会、12月:文化祭(延期)、
 12月:クリスマス交流会、2月:修学・研修旅行(延期)2月:カレーパーティー、その他多数

7 30種類の部活動等の活躍（たくさんあるのでかけ持ちしている生徒もいます）

- (1) 運動部（12つ）※①～⑦の指定部活動は専門の体育教員が授業と連動して部活動を指導。
 指①野球部：夏の大会2位(R2・3)ベスト4(R1)甲子園(H18)、地元生徒で甲子園目指す。
 指②柔道部：男子団体県2位、県新人個人男女優勝、東北出場(R1)、新チームも県大会出場。
 指③陸上競技部：男4×400R(R3)女7種競技(R2)東北出場、札幌アソシエイト選手も指導。
 指④ハンドボール部：県3位、初心者が選抜され国体出場(R1)、新チームも県ベスト8(R3)。
 指⑤女子バスケットボール部：インターハイ県大会ベスト16(R3)、県南新人3位県大会出場(R2)。
 指⑥男子バレーボール部：インターハイ県大会3位(R3)、県南1年生大会3位(R2)、部員数増。
 指⑦女子バレーボール部：ビーチバレー東北3位国体出場(R1)、県南1年生大会優勝(R2)。
 ⑧男子バスケットボール部：部員数が増え活動が活性化。県南高校大会出場(R1)。
 ⑨卓球部：女子団体インターハイ県大会ベスト8・地区大会2位、女子個人県南大会ベスト4(R3)。
 ⑩ソフトテニス部：インターハイ県大会男子団体・女子個人出場(R3)、女子個人県ベスト16(R2)。
 ⑪バドミントン部：県南新人戦女子ダブルスベスト8、県大会出場(R1)。男女とも活躍。
 ⑫サッカー部：初心者含めて力を合わせ県高校選手権に出場して1回戦勝利(R1)。

(2) 文化部（13つ）

- ①応援団チアリーダー部：全日本チアリーダー選手権全国大会出場(R1・2・3)、高校野球応援。
 ②美術部：県美展佳作(R3)全国総文(九州)出展(R1)、企業がイベント表紙デザイン(R2・3)。
 ③アートファクトリー部：パナソニック甲子園CG佳作(R1・2)、交通安全CMコンテスト金賞(R1)。
 ④写真部：県高校文化祭写真展優秀賞(R1)、作品の制作や展示、記録写真等を撮影。
 ⑤演劇部：県南高校演劇コンクール優秀賞・演技賞(R1～3)、書き下ろし脚本も入賞(R3)。
 ⑥吹奏楽部：県コンクール銀賞(R1)、演奏会ライブ配信(R2)、野球応援・クラブコンクール個人全国(R3)。
 ⑦テクノアートシンセサイザー部：県音楽祭出演(R1)、演奏会開催し光南サウンド披露。
 ⑧合唱部：県声楽コンクールコンテスト出場(R1・2)、芸術祭でも生徒が美しい歌声を披露。
 ⑨商業研究部：ビジネス計算競技大会県3位(R3)、社会貢献コンテスト入賞(R2)など活躍。
 ⑩ファッション部：芸術祭のファッションショーで自分で作ったドレスを着てランウェイで披露。
 ⑪華道部：池坊の専門の先生に定期的に教えに来ていただき、楽しみながら活動。
 ⑫放送部：積極的に校内放送を行い、行事も進行、企業PR動画にアパックスで貢献(R2)。
 ⑬新聞部：学業との両立を図りながら活動継続、今年度部員増、校内新聞発行(R3)。

(3) 同好会等（5つ）

- ①英語同好会：アメリカ出身のALTと一緒に練習し県英語弁論大会優勝・東北出場(R1)。
 ②軽音楽同好会：コロナ禍でもROCK'S2020やWellbe-LIVE(R2)や町フェス(R1)に出演。
 ③JRC同好会：ボランティア活動や研修会等に参加(R1)、災害募金28万円寄付(R2)。
 ④イラスト同好会：熱心に作品を制作し定期的に校内に展示、手書きやパソコンで制作。
 ⑤家庭クラブ：光南弁当やマクドナルド止めを開発し県南家庭クラブ発表会で優秀賞(R1・2)。

8 その他の活動

- (1) 文理進学系列：那須甲子青少年自然の家と連携し探究活動が全国大会2位(R2)。
 (2) 情報ビジネス系列：税の作文(高校生の部)県1位相当の仙台国税局長賞受賞(R2)。
 (3) テクノアート系列：県総合学科発表会最優秀賞(R1)、地域で音楽発表会を開催。
 (4) 福祉介護系列：「矢吹の町を支え隊」を結成し全国高校生ボランティアアワード出場(R1)。
 (5) 荷崩れしたトラックのゴミ積み込みを手伝った1・2年生7名：高P連善行賞受賞。
 (6) 選択書道：たなばた展・銀河賞賞(R3)、県書道展半紙の部・条幅の部奨励賞(R1)。
 (7) 資格取得：英検準1級、漢検2級、日商簿記2級、家庭・商業は1級、福祉は2級取得。
 (8) 矢吹町・懇話会と連携協定を締結：キャリア教育・ボランティアなど、Win-Winの取組を推進。
 (9) コロナ禍でもICTを活用し、オンライン授業や行事のライブ配信などを実施。
 (10) H29卒業生の大竹風雅投手がプロ野球ドラフト会議でソフトバンク5位指名(R3)。

光南高校の令和4年度特色選抜の概要

(入学者選抜前期選抜募集要項より抜粋)

特色選抜の満点

志願の区分	学力 検査	調査書	特色面接		特色検査		合計
			集団面接	個人面接	P P	基礎体力検査	
学業型	250 点	250 点	段階評価	150 点	-	-	650 点
特技型	250 点	250 点	段階評価	150 点	200 点	-	850 点
指定部活動型	250 点	250 点	段階評価	150 点	350 点		1000 点

※ 表中の「P P」は「パーソナルプレゼンテーション」を示す。

特色面接

志願者のよさを適切に評価する観点から、集団面接と個人面接を実施する。

集団面接は段階評価とし、個人面接は点数化し、150 点満点とする。

(1) 集団面接

令和4年3月3日(木) 学力検査終了後に実施する(15分程度)。

(2) 個人面接

令和4年3月4日(金)又は5日(土)のいずれかの午前又は午後実施する(10分程度)。

特色検査

志願者のよさを多面的に評価する観点から、特技型及び指定部活動型については自己の個性やよさをアピールするパーソナルプレゼンテーションを実施する。また指定部活動型については基礎体力検査も実施する。特色検査は、特技型は200点満点、指定部活動型は350点満点とする。

(1) パーソナルプレゼンテーション(特技型、指定部活動型のみ実施)

令和4年3月4日(金)又は5日(土)の午前又は午後実施する(質疑を含めて10分以内)。

(2) 基礎体力検査(指定部活動型のみ実施)

令和4年3月4日(金)又は5日(土)の午前又は午後実施する(5分程度)。

それぞれの競技で下表の内容を実施する。※基礎体力検査で使用するボール等は本校で準備する。

競 技	内 容
陸上競技	メディシンボール投げ (フロントスロー【両手持ち下投げ】、男子3kg・女子2kg)
	立ち五段跳び
	30m 走
野球	背筋力
	立ち幅跳び
	反復横跳び(20秒間)
柔道	反復横跳び(20秒間)
	握力
	マット運動(前転、後転、開脚前転、倒立前転)
バレーボール	反復横跳び(20秒間)
	9m反復走(3往復タイム測定)
	立ち幅跳び
ハンドボール	長座ボール投げ(ハンドボール2号球)
	立ち幅跳び
	20m反復走(2往復タイム測定)
バスケットボール	立ち幅跳び
	5m反復走(5往復タイム測定)
	ボールハンドリング (腰回り→首回り→エイトクロス、左右各10回のタイム測定)

※ 一般選抜は、調査書、学力検査、一般選抜に係る面接(集団面接)を資料として、本校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定し、合格者を決定する。日程等は、特色選抜と同じとする。

光南高校の入試等に関する質問への回答 Q & A (令和3年度版)

Q 1 特色選抜で学業型・特技型・指定部活動型の合計点が異なりますが、合計点が高い型で受験した方が有利ですか。

⇒ 型ごとに選考を行いますので、合計点が高い型が有利になる訳ではありません。

Q 2 高校で部活動をしたいのですが、特色選抜のどの型で受験すると良いですか。

⇒ 自分の個性に合わせて、どの型で受験してもかまいません。高校で続けたい部活動が本校の指定する部活動（野球部、陸上競技部、柔道部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、女子バスケットボール部、女子ハンドボール部）の場合は指定部活動型、これら以外の部活動の取組を入試でアピールしたい場合は特技型で受験すると良いでしょう。

Q 3 学業型で受験して合格した場合、入学後にコースや系列、履修すべき授業など、何か指定がありますか。

⇒ ありません。学業型で合格した生徒も、自由に系列や授業等を選んでかまいません。また、現在1年次から文理進学クラスを編成していますが、生徒の希望でクラス編成していますので、学業型で合格した生徒が、必ず文理進学クラスに入る必要はありません。

Q 4 特技型で受験したいのですが、入学後の系列や部活動は何を選んでも良いですか。

⇒ 何を選んでも良いです。特技型で合格した生徒も、特に指定はなく、自由に系列や部活動を選んでかまいません。

Q 5 指定部活動型で合格した場合、必ずスポーツ科学系列を選ぶようになるのですか。

⇒ どの系列を選んでもかまいません。指定部活動型で合格した生徒は、入学後、選んだ競技の部活動を継続するとともに、その競技の授業（スポーツⅠ（陸上競技）、スポーツⅡ（野球・バレーボール・バスケットボール・ハンドボール）、スポーツⅢ（柔道））を選ぶことになります。それ以外は、系列や授業を自由に選択することができ、その自由度の高さが総合学科の特色です。

Q 6 特色選抜のパーソナルプレゼンテーション（P P）では、どのようなことをする生徒が多いですか。

⇒ 特色選抜の特技型と指定部活動型でP Pを行います。生徒たちは、スポーツや文化、芸術など、それぞれに自分が得意とすることをアピールしており、その内容は多様です。P Pの参考資料を本冊子にも掲載しましたので、参考にしてください（別紙「パーソナルプレゼンテーション（P P）について」参照）。

Q 7 指定部活動型のP Pは、必ず選んだ競技のプレゼンテーション（プレゼン）をしなければいけないのですか。

⇒ 指定部活動型のPPも特技型と同様、自由にどのようなプレゼンを行ってもかまいません。自分の個性や良さをアピールできるプレゼンを行ってください。また、指定部活動型のPPでは、例年、体育館等（柔道は武道場、野球はビニールハウス）で行うこととなり、野球に関しては高野連の通知により、ボールを使用する場合、硬式・軟式ボールではなくソフトボールを使用することとなります。

Q 8 指定部活動型のPPでは、どのようなことを行えば良いのですか。

⇒ 自由にどのようなプレゼンを行っても良いです。指定部活動型で選んだ競技の内容のPPでも、選んだ競技とは異なる内容のPPでもかまいません（例えば、競技はハンドボールで受験し、PPではバスケットボールを行うなど）。本冊子にも掲載している参考資料「PPについて」では、50m走、800m走、砲丸投げ、シュート、ランニングパス、受身、乱取、キャッチボール、バッティングなどを例示しています。例年、体育館等で行うために実施できない種目もあり、短距離走は直線コースにはなりません。

Q 9 人気のある高校なので、倍率は高いのですか。

⇒ 昨年度の定員（200名）に対する特色選抜と一般選抜を合わせた志願者（205名）の倍率は1.025倍でした。来年の倍率は予測できませんが、是非、光南高校に入学し、充実した高校生活を送ってほしいと思っています。例年、9月段階で希望している生徒数より、実際3月に受験する生徒数は少なくなる傾向にあります。

（入試以外のQ & A）

Q10 来年4月から光南高校の教育はどのように変わるのですか？

⇒ 令和4年度の新学習指導要領の実施に合わせて、系列（選択科目群）の在り方を見直すとともに、カリキュラム（教育課程）を再編成し、必修科目や人気科目はそのままに、特色ある新しい科目を設ける予定です。また、新たに整備したICT（情報通信技術）環境を生かし、社会で生き抜く力を育む探究活動の充実も図る予定です。

☆新しい6つの系列（系列には100種類以上の魅力ある選択科目を設けます）

- ①文理探究系列（探究活動やICTを活用し大学・看護医療系進学に必要な科目を学ぶ）
- ②スポーツ科学系列（部活動連動やICT活用で競技力向上を図り生涯スポーツも学ぶ）
- ③家庭系列（専門的な保育・食物・被服を資格検定も活用して実習中心で探究的に学ぶ）
- ④情報ビジネス系列（体験的な活動により本格的にビジネスを学び資格も取得する）
- ⑤芸術（音楽・美術）系列（アナログからデジタルまで幅広く技術を学び芸術性を磨く）
- ⑥福祉系列（地域とも連携して将来役立つ介護技術を含む福祉を幅広く基礎から学ぶ）

Q11 指定部活動とその他の部活動等との違いは何ですか。

⇒ 指定部活動は、部活動と授業（月・木の5・6校時）を連動させて部活動の顧問（保健体育の専門教員等）が指導しており、遠征の支援等も充実しています。その他の部活動には、これらの体制はありませんが、どの部活動等もしっかり活動できるよう、様々な支援を行っています。

令和4年度福島県立光南高等学校入学者選抜前期選抜募集要項

〒969-0227 福島県西白河郡矢吹町田町 532 番地

電話 (0248) 42-2205

1 実施学科

全日制の課程 総合学科

2 通学区域

県下一円

3 募集定員

- (1) 特色選抜 募集定員(200名)の50%程度
- (2) 一般選抜 募集定員(200名)から特色選抜の合格者数を除いた数

4 出願資格

特色選抜については次の(1)、(2)の条件を満たす者、一般選抜については次の(1)の条件を満たす者とする。

- (1) 「令和4年度福島県立高等学校入学者選抜実施要綱」に示された「第1 入学者募集」の「2 出願資格」を満たす者
- (2) 特色選抜については次に示す「志願してほしい生徒像」を踏まえ、総合学科である本校で学ぶ動機・理由が明確であり、個性豊かな者

5 志願してほしい生徒像

本校で学ぶ意欲があり、特色選抜については、次の学業型、特技型、指定部活動型のいずれかに該当する者

学 業 型

中学校における学業全般の成績または特定の教科の成績が特に優れており、将来の夢や目標を明確に持ち、入学後も意欲的に学習に取り組んで大学等への進学を希望する者

特 技 型

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、資格、特技等においてアピールできるものがあり、その成果や経験を生かし、入学後も意欲的に学習や特別活動等に取り組むことができる者

指定部活動型

本校の指定する部活動において優れた資質を有し、入学後も当該部活動を3か年継続する意志があり、学業と部活動を両立できる者

※ 本校の指定する部活動：陸上競技、野球（男子のみ）、柔道、バレーボール、
ハンドボール（女子のみ）、バスケットボール（女子のみ）

6 出願方法

- (1) 中学校卒業生及び卒業見込の者は、在学（出身）中学校長を通して、本校校長に出願する。
- (2) 上記(1)以外の者は、直接、本校校長に出願する。

7 併願の取扱い

志願者は、本校の特色選抜と一般選抜のいずれか又は両方に出願することができる。ただし、本校と他の県立学校との併願は認めない。

8 出 願 期 間

令和4年2月3日（木）から2月8日（火）までとする。

受付時間は、午前9時から午後4時までとし、出願最終日は午前9時から正午までとする。

ただし、土曜日及び日曜日は受け付けない。

県外等から郵送により出願する場合は、速達・書留とし、84円切手を貼付した返信用封筒（長形3号）を同封の上、令和4年2月8日（火）正午までに必着とする。その場合、事前に本校校長に連絡する。

9 出願に必要な書類

(1) 中学校卒業生及び卒業見込の者

① 入学願書（県教育委員会において作成したもの）

② 令和4年度福島県立高等学校入学志願に関する調査書（以下「調査書」という。）

ただし、年齢20歳以上の者については、本校校長の判断により、調査書の提出を免除することもある。

なお、調査書の提出期間は令和4年2月15日（火）から2月16日（水）までとする。受付時間は午前9時から午後4時までとする。

③ 特色選抜志願理由書（本校所定の様式）

ただし、一般選抜のみに出願する志願者については不要とする。

④ 受験票用紙（県教育委員会において作成したものに、受験番号欄の学科名、中学校名、志願者氏名を記入したもの）

⑤ 入学検定料納付済証明書用紙（県教育委員会において作成したものに、中学校名、志願者氏名及び出願課程名を記入したもの）

⑥ パーソナルプレゼンテーション申告用紙（本校所定の様式）

ただし、特色選抜「学業型」に出願する志願者及び一般選抜のみに出願する志願者については不要とする。

(2) 上記(1)以外の者

本校に問い合わせること。

(3) 入学願書には、入学検定料として、2,200円の「福島県収入証紙」を貼付する。

ただし、志願者において消印しない。

10 自己申告書の提出

中学校において不登校であった志願者については、本人の希望により、長期欠席等の理由などを記載した「自己申告書」（県教育委員会所定の様式）を出願に際して本校校長に提出できる。

提出できる者は、不登校による欠席日数が1年間で30日以上とするが、30日未満の日数であっても希望する者は提出することができる。

また、保健室等登校であった者も、その日数が1年間で30日以上の場合提出できるが、30日未満の日数であっても希望する者は提出することができる。

提出及び受領は次の方法により行う。

(1) 志願者は、必要事項を記入した後、厳封の上、本校校長あて親展とし、書留で郵送するか又は持参する。郵送の場合には、志願者の住所、氏名を記入し、84円切手を貼付した返信用封筒（長形3号）を同封する。

(2) 自己申告書の提出があった場合、本校校長は、自己申告書受領書を交付する。

(3) 提出期間は、令和4年2月15日（火）から2月16日（水）までとする。

郵送の場合には、2月16日（水）の消印有効とする。

持参の場合の受付時間は、午前9時から午後4時までとする。

11 住所等に関する届出書の提出

「東日本大震災により避難している生徒等の入学者選抜の出願に関する弾力的な取扱い」に該当する場合は、上記 9 に示した出願書類に加え、「住所等に関する届出書」（県教育委員会所定の様式）を提出する。

12 県外からの出願

- (1) 隣接県の隣接学区内からの出願については、別に隣接県教育委員会と福島県教育委員会が相互に定める入学志願者の取扱いに関する協定により、本校校長が処理する。
- (2) 上記(1)以外の県外からの志願者は、上記 9 に示した出願書類のほかに、次の書類を提出する。
 - ① 他都道府県の公立高等学校を志願しないことを証明する書類
「証明書」（県教育委員会所定の様式）
 - ② 保護者が本県に居住することになることを証明する書類
市町村長が発行する「住民票の写し」
ただし、住民登録ができない事情がある場合は、保護者の勤務先の所属長が発行する「転勤見込証明書」などで代替することができる。

13 願 書 受 付

- (1) 出願書類を提出した者に対し、受験番号を記入した受験票及び入学検定料納付済証明書を交付する。志願者は、交付された入学検定料納付済証明書については、写しをとっておく。
- (2) 本校校長は、志願者の入学願書について精査し、入学願書に記載した事項に虚偽があると認めた場合や、所定の手続きを経ずに県外等からの出願がなされた場合は、入学願書の受付を取り消すことがある。

14 出 願 先 変 更

志願者は、令和 4 年 2 月 9 日（水）から 2 月 14 日（月）までの期間内で、1 回に限り、出願先及び出願した選抜を変更することができる。
受付時間は、出願の場合と同じである。
ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けない。

15 出 願 の 取 消 し

- (1) 中学校卒業後及び卒業見込の者が前期選抜の出願を取り消す場合は、「出願取消届」（県教育委員会所定の様式）を在学（出身）中学校長を通して出願期間終了後に本校校長に提出する。
- (2) 上記(1)以外の者は、「出願取消届」（県教育委員会所定の様式）を出願期間終了後に、直接、本校校長に提出する。
- (3) 前期選抜の出願を取り消す者は、本校校長に受験票を返還する。
ただし、すでに納付された入学検定料については返還しない。

16 入 学 者 選 抜

特色選抜のみの志願者、特色選抜と一般選抜の併願の志願者は＜特色選抜＞（3～6 ページ）の内容を、一般選抜のみの志願者は＜一般選抜＞（7 ページ）の内容を参照すること。
なお、特色選抜と一般選抜の両方に出願して特色選抜に不合格になった場合は、一般選抜のみの志願者と併せて選抜の対象とする。

＜特色選抜＞

特色選抜志願理由書、調査書、学力検査、特色選抜に係る面接（以下「特色面接」という。）（集団面接・個人面接）、本校の特色に応じた選抜方法（以下「特色検査」という。）（パーソナルプレゼンテーション・基礎体力検査）を資料として、本校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定し、合格者を決定する。

ただし、特色検査のパーソナルプレゼンテーションは特技型及び指定部活動型のみで実施し、学業型では実施しない。

また、特色検査の基礎体力検査は指定部活動型のみで実施する。

学 力 検 査

5教科の学力検査を実施し、各教科の満点を50点、学力検査全体の満点を250点とする。

(1) 日 時 令和4年3月3日(木) 午前9時～午後3時10分

<受付> 午前7時50分～8時15分

<点呼> 午前8時20分より(各検査場兼控室)

(2) 日 程

7:50	8:15	8:20	8:30	9:00	9:50	10:10	11:00	11:20	12:10	13:10	14:00	14:20	15:10
受	点	諸	国		数		外		理		社		
付	呼	連	語	休	学	休	国		科	休	会		
		絡	(50分)		(50分)		(英語)		(50分)		(50分)		
							(50分)		昼食				
(5分)				(20分)		(20分)			(60分)		(20分)		

(3) 会 場 本校教室等

(4) 持参するもの

受験票、上ばき、昼食、鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、コンパス、定規
(ただし、下敷、分度器(分度器機能を有する定規を含む)は使用できない。)

また、以下のものは持ち込まないこと。

- ① 携帯電話、スマートフォン等の通信機器
- ② 計算機能、電子辞書等の言語表現機能を有する機器
- ③ 通信機能や計算機能のある時計(学力検査場には時計が設置してあります)
- ④ 辺の長さの比や角の大きさが記された三角定規

特色選抜志願理由書

志願者についての理解を深めるために活用する。志願の動機・理由、志願の区分等については以下のことに注意して、本人が記入すること。

- (1) 「学業型」の志願者で特定の教科の成績が特に優れている場合は、「特色選抜志願理由書」の「志願の区分」の括弧内に該当の教科名を記入する。
- (2) 「特技型」の志願者は、「特色選抜志願理由書」の「志願の区分」の括弧内に「パーソナルプレゼンテーション申告用紙」に記載した「内容」を記入するとともに、「アピールできるもの」の欄に文章で具体的に記入する。
- (3) 「指定部活動型」の志願者は、「特色選抜志願理由書」の「志願の区分」の括弧内に競技名(本校の指定する部活動の名称)を記入するとともに、「アピールできるもの」の欄に文章で具体的に記入し、「備考」の欄に入学後もその競技の部活動を3年間継続する意志を確認するための署名をする。
※ 指定部活動型の特色選抜で入学した場合、1年次で当該競技についての科目を履修することを原則とする。ただし、国公立大学や私立大学理系学部などへの進学を希望する場合は、本校で指定する科目を履修することができる。

調 査 書

志願者についての客観的かつ公正な資料とする。

- (1) 調査書の「各教科の学習の記録」の評定については、国語、社会、数学、理科、外国語(英語)の第1学年から第3学年の評定の合計に、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の第1学年から第3学年の評定の合計を2倍にしたものを加えて、195点満点とする。
- (2) 調査書の「特別活動等の記録」については点数化し、55点満点とする。
- (3) 調査書は、上記(1)、(2)の合計の250点満点とする。

特 色 面 接

志願者のよさを適切に評価する観点から、集団面接と個人面接を実施する。

集団面接は段階評価とし、個人面接は点数化し、150点満点とする。

ただし、一般選抜との併願の志願者は特色面接（集団面接）の実施をもって一般面接の実施とみなす。
 なお、特色面接（集団面接・個人面接）の日時については、令和4年2月24日（木）に本校ホームページで発表する。

(1) 集団面接

① 日時 令和4年3月3日（木）学力検査終了後に実施する。

② 日程

時 間	日 程
15:10～15:25	諸 連 絡
15:25～15:35	休 憩
15:35～	集団面接

③ 会 場 本校教室等

④ 時 間 15分程度とする。

(2) 個人面接

① 日時 令和4年3月4日（金）又は5日（土）のいずれかの午前又は午後実施する。

② 日程

午前の部	日 程	午後の部
7:50～8:20	受 付	11:50～12:20
8:20～8:30	点 呼	12:20～12:30
8:30～8:50	諸 連 絡	12:30～12:50
8:50～9:00	休 憩	12:50～13:00
9:00～	個人面接	13:00～

③ 会 場 本校教室等

④ 時 間 10分程度とする。

⑤ 持参するもの

受験票、筆記用具、上ばき、自習教材（または本）

※ スマートフォン等の通信機器は持ち込めない。

特色検査

志願者のよさを多面的に評価する観点から、特技型及び指定部活動型については自己の個性やよさをアピールするパーソナルプレゼンテーションを実施する。また、指定部活動型については基礎体力検査も実施する。

特色検査は、特技型は200点満点、指定部活動型は350点満点とする。

また、特色検査は、令和4年3月4日（金）又は5日（土）のいずれかの午前又は午後、特色面接（個人面接）後に実施する。特技型は、特色面接（個人面接）、パーソナルプレゼンテーションの順に行い、指定部活動型は、特色面接（個人面接）、パーソナルプレゼンテーション、基礎体力検査の順に行う。特色検査において着替えが必要な場合は、「パーソナルプレゼンテーション申告用紙」の「更衣室」欄の「必要である」に○を付け、特色検査の前に所定の場所で行う。

なお、特色検査（パーソナルプレゼンテーション・基礎体力検査）の日時については、令和4年2月24日（木）に本校ホームページで発表する。

(1) パーソナルプレゼンテーション（特技型、指定部活動型のみ実施）

① 日時 令和4年3月4日（金）又は5日（土）のいずれかの午前又は午後実施する。

② 日程 特色面接（個人面接）後に実施する。

③ 会 場 本校教室、体育館、武道場等

④ 時 間

準備、パーソナルプレゼンテーション、後片付け、パーソナルプレゼンテーションに関する質疑を含め全体で10分以内とする。（準備、パーソナルプレゼンテーション、後片付けを含めて7分以内とする。）

ただし、食品の調理を行う場合は、安全確保の観点から、必要に応じて一斉に調理時間（20分以内）を設けてから、パーソナルプレゼンテーションを行う。なお、調理時間も評価の対象とする。

⑤ その他

野球でボールを使用する場合、ボールはソフトボールとし、ビニールハウスで行う。

⑥ 持参するもの

パーソナルプレゼンテーションに必要なもの

(2) 基礎体力検査（指定部活動型のみ実施）

① 日時 令和4年3月4日（金）又は5日（土）のいずれかの午前又は午後実施する。

② 日程 パーソナルプレゼンテーションの後に、続けて実施する。

③ 会場 体育館、武道場等

④ 時間 5分程度とする。

⑤ 内容 それぞれの競技で下表の内容を実施する。

競 技	内 容
陸上競技	メディシンボール投げ (フロントスロー【両手持ち下投げ】、男子3kg・女子2kg)
	立ち五段跳び
	30m 走
野球	背筋力
	立ち幅跳び
	反復横跳び (20 秒間)
柔道	反復横跳び (20 秒間)
	握力
	マット運動 (前転、後転、開脚前転、倒立前転)
バレーボール	反復横跳び (20 秒間)
	9 m反復走 (3 往復タイム測定)
	立ち幅跳び
ハンドボール	長座ボール投げ (ハンドボール2号球)
	立ち幅跳び
	20m反復走 (2 往復タイム測定)
バスケットボール	立ち幅跳び
	5 m反復走 (5 往復タイム測定)
	ボールハンドリング (腰回り→首回り→エイトクロス、左右各10回のタイム測定)

※ 基礎体力検査で使用するボール等は本校で準備する。

⑥ 持参するもの

運動できる服装（運動着、ジャージ、練習着等）、体育館シューズ
(野球は外用シューズ、柔道は素足で行う。)

特色選抜の満点

志願の区分	学力 検査	調査書	特色面接		特色検査		合計
			集団面接	個人面接	PP	基礎体力検査	
学業型	250 点	250 点	段階評価	150 点	-	-	650 点
特技型	250 点	250 点	段階評価	150 点	200 点	-	850 点
指定部活動型	250 点	250 点	段階評価	150 点	350 点		1000 点

※ 表中の「PP」は「パーソナルプレゼンテーション」を示す。

<一般選抜>

調査書、学力検査、一般選抜に係る面接（以下「一般面接」という。）（集団面接）を資料として、本校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定し、合格者を決定する。

学 力 検 査

<特色選抜>の **学力検査**（4ページ）と同じとする。

調 査 書

<特色選抜>の **調査書**（4ページ）と同じとする。

一 般 面 接

志願者のよさを適切に評価する観点から、集団面接を実施する。

一般面接は、段階評価とする。特色選抜と一般選抜の併願の志願者は、特色面接（集団面接）の実施をもって一般面接とみなす。

なお、一般面接（集団面接）の時間については、令和4年2月24日（木）に本校ホームページで発表する。

日時、会場等については<特色選抜>の **特色面接**（1）集団面接（4～5ページ）と同じとする。

17 合格者発表

- (1) 令和4年3月14日（月）正午以降に本校で発表する。
- (2) 合格者に対して、受験票と引き換えに合格通知書を交付する。
- (3) 提出書類の記載内容に事実と相違している点が認められたときは、合格を取り消すことがある。

18 追検査等の実施

追検査等の受験資格がある志願者は、前期選抜実施日に記録的な大雪や大地震等の非常災害による交通遮断等により欠席や大幅な遅刻を余儀なくされた者、インフルエンザ等学校感染症に罹患した状態にあり欠席した者及び新型コロナウイルス感染症への対応として特別な措置が必要とされ欠席した者とする。

【令和4年3月3日（木）に欠席した志願者】

学 力 検 査

- (1) 日 時 **令和4年3月9日（水）午前9時～午後2時45分**
 <受付> 午前7時50分～8時15分
 <点呼> 午前8時20分より（各検査場兼控室）

- (2) 日 程

7:50	8:15	8:20	8:30	9:00	9:50	10:05	10:55	11:10	12:00	12:50	13:40	13:55	14:45
受	点	諸	国		数		外		理		社		
付	呼	連	語	休	学	休	国	食	科	休	会		
		絡	(50分)		(50分)		(英語)		(50分)		(50分)		
							(50分)						
(5分)				(15分)		(15分)		(50分)		(15分)			

- (3) 会 場 **本校教室等**
- (4) その他

上記(1)～(3)以外については、<特色選抜>の **学力検査**（4ページ）と同じとする。

特色面接（集団面接）及び一般面接(1) 日 時 **令和4年3月9日（水）学力検査終了後**

(2) 日 程

時 間	日 程
14:45～15:00	諸 連 絡
15:00～15:10	休 憩
15:10～	集団面接

(3) 会 場 **本校教室等**

(4) その他

上記(1)～(3)以外については、＜特色選抜＞の **特色面接** (1)集団面接（4～5ページ）及び＜一般選抜＞の **一般面接**（7ページ）と同じとする。

特色選抜と一般選抜の併願の志願者は、特色面接（集団面接）の実施をもって一般面接の実施とみなす。

【令和4年3月4日（金）又は5日（土）に欠席した志願者】**特色面接（個人面接）、特色検査（パーソナルプレゼンテーション）、特色検査（基礎体力検査）**(1) 日 時 **令和4年3月10日（木）**

(2) 日 程

時 間	日 程
7:50～ 8:20	受 付
8:20～ 8:30	点 呼
8:30～ 8:50	諸 連 絡
8:50～ 9:00	休 憩
9:00～	特色面接（個人面接） 特色検査（パーソナルプレゼンテーション） 特色検査（基礎体力検査）

(3) 会 場 **本校教室、本校体育館、武道場等**

(4) その他

上記(1)～(3)以外については、＜特色選抜＞（3～6ページ）と同じとする。

19 入学辞退の手続き

合格者のうち、入学を辞退する者は、入学辞退届（県教育委員会所定の様式）を在学（出身）中学校長を通して本校校長に提出する。

ただし、中学校卒業生及び卒業見込みの者以外の者については、直接、本校校長に提出する。

20 その他

新型コロナウイルス感染症に係る特例措置や障がい等のある志願者に対する配慮など、本要項に記載のないものについては、「令和4年度福島県立高等学校入学者選抜実施要綱」に定めるところによる。

令和4年度特色選抜志願理由書

福島県立光南高等学校長 様

令和 年 月 日

学 校 名

志願者氏名

保護者氏名

(保護者自署)

私は、下記により、貴校総合学科第1年次に入学を志願いたします。

志 願 の 動機・理由				
志願の区分	学業型		特技型	指定部活動型
	【学業全般】	【特定の教科】		
		教科名 ()	内容 ()	競技名 ()
アピール できるもの				
備 考	≪「指定部活動型」の志願者のみ記入≫ 入学後に部活動を3年間継続する意志について、下記の()内に氏名を自筆で記入してください。			
	私は指定部活動型で志願するにあたって、上記「志願の区分」欄に記入した競技の部活動を3年間継続する意志があります。 志願者氏名 ()			

(記入上の注意)

- 志願者自筆とし、黒か青のボールペン又は万年筆で記入する。
ただし、記入したものを複写して提出する場合、使用する筆記用具は問わない。
- 記入したものを複写して提出する場合、志願者氏名及び保護者氏名については複写したものにボールペン又は万年筆で直接自署する。
- 「志願の区分」については該当欄に○を記入する。
「学業型」の特定の教科での志願者は()内に特に優れている教科名を1つ記入する。
「特技型」の志願者は()内にパーソナルプレゼンテーション申告用紙に記載した「内容」を記入する。
「指定部活動型」の志願者は()内に本校の指定する部活動の名称(陸上競技・野球・柔道・バレーボール・女子ハンドボール・女子バスケットボール)を1つ記入する。
- 「備考」は「指定部活動型」の志願者のみが記入する。2と同様に、複写の場合も志願者が直接自署する。

令和4年度特色選抜志願理由書

福島県立光南高等学校長 様

令和 年 月 日

学 校 名

複写する場合も自署すること。

志願者氏名

保護者氏名

(保護者自署)

私は、下記により、貴校総合学科第1年次に入学を志願いたします。

志 願 の 動機・理由	この欄はすべての受験生が記入する				見 本
	必ずどれか1つの欄に○を記入する				
志願の区分	学業型	特技型	指定部活動型		
	【学業全般】 ○ ()	【特定の教科】 ○ 教科名 ()	○ 内容 ()	○ 競技名 ()	
アピール できるもの	9教科のうち1つ記入する		本校の指定する部活動から選び1つ記入する		
	パーソナルプレゼンテーション申告用紙に記載した「内容」を記入する				
	※この欄は「特技型」、「指定部活動型」の志願者のみ記入する				
備 考	≪「指定部活動型」の志願者のみ記入≫ 入学後に部活動を3年間継続する意志について、下記の () 内に氏名を自筆で記入してください。				
	私は指定部活動型で志願するにあたって、上記「志願の区分」欄に記入した競技の部活動を3年間継続する意志があります。				
	(志願者氏名) ()				

(記入上の注意)

- 1 志願者自筆とし、黒か青のボールペン又は万年筆で記入する。
ただし、記入したものを複写して提出する場合、使用する筆記用具は問わない。
- 2 記入したものを複写して提出する場合、志願者氏名及び保護者氏名については複写したものにボールペン又は万年筆で直接自署する。
- 3 「志願の区分」については該当欄に○を記入する。
 「学業型」の特定の教科での志願者は () 内に特に優れている教科名を1つ記入する。
 「特技型」の志願者は () 内にパーソナルプレゼンテーション申告用紙に記載した「内容」を記入する。
 「指定部活動型」の志願者は () 内に本校の指定する部活動の名称(陸上競技・野球・柔道・バレーボール・女子ハンドボール・女子バスケットボール)を1つ記入する。
- 4 「備考」は「指定部活動型」の志願者のみが記入する。2と同様に、複写の場合も志願者が直接自署する。

複写する場合も自署すること。

令和4年度特色選抜

パーソナルプレゼンテーション申告用紙

福島県立光南高等学校

連 絡 先				
ふりがな				性 別
志願者氏名				
保護者名		続柄	緊急連絡電話番号	
中学校名				電話番号

パーソナルプレゼンテーション申告内容			
内 容	※申告後は、原則として「内容」の変更はできません。やむを得ない理由で変更を希望する場合は、中学校長を通して、本校校長へ問い合わせること。		
志 願 型	特技型 ・ 指定部活動型	更衣室	必要である ・ 必要ない
詳 細			
準備物	自分で準備するもの	高校側で準備してほしいもの	

(記入上の注意)

- 「緊急連絡電話番号」は、緊急の場合に保護者との連絡が取れるように記入すること。
 - 記入したものを複写して提出する場合、志願者氏名については複写したものにボールペン又は万年筆で直接自署する。
 - 「更衣室」が必要かどうか、丸を付けること。
 - 「内容」は別の参考資料「パーソナルプレゼンテーション（PP）について」の「実施例」を参考に簡潔に記入する。
 - 「詳細」及び「準備物」は具体的に記入する。
(志願者において準備が難しいものについては、中学校長を通じて本校まで相談すること。ただし、高校側で用意できない場合もある。)
 - パソコン、CDプレーヤー等は高校側では準備できません。自分で準備して使用する場合は、電源（コンセント）を必要とする時は「コンセント使用希望」と記入すること。
- ※ 申告内容を踏まえて日時と会場などの振り分けを行い、特色検査（パーソナルプレゼンテーション）の日時を令和4年2月24日（木）に本校ホームページで発表します。

令和4年度特色選抜

パーソナルプレゼンテーション申告用紙

福島県立光南高等学校

連 絡 先			
ふりがな			
性別			
志願者氏名	複写する場合も自署すること。		
保護者名	見 本	続柄	緊急連絡電話番号
中学校名			電話番号

例：英語スピーチ、部活動体験発表、[楽器]の演奏、美術作品紹介、陸上競技、ソフトボール、調理など

パーソナルプレゼンテーション申告内容			
内 容	(例)トランペットの演奏 ※申告後は、原則として「内容」の変更はできません。やむを得ない理由で変更を希望する場合は、中学校長を通して、本校校長へ問い合わせること。		
志 願 型	特 技 型	指定部活動型	更衣室
詳 細	必要である 必要でない 指定部活動型の場合は「必要である」に○をつける 特技型の場合は特色選抜志願理由書の「志願の区分」の()内と同じ記載とする		
※この欄は「内容」の詳細を分かりやすく記入する			
準備物	自分で準備するもの	高校側で準備してほしいもの	

(記入上の注意)

- 「緊急連絡電話番号」は、緊急の場合に保護者との連絡が取れるように記入すること。
 - 記入したものを複写して提出する場合、志願者氏名については複写したものにボールペン又は万年筆で直接自署する。
 - 「更衣室」が必要かどうか、丸を付けること。
 - 「内容」は別の参考資料「パーソナルプレゼンテーション (P P) について」の「実施例」を参考に簡潔に記入する。
 - 「詳細」及び「準備物」は具体的に記入する。
(志願者において準備が難しいものについては、中学校長を通じて本校まで相談すること。ただし、高校側で用意できない場合もある。)
 - パソコン、CD プレーヤー等は高校側では準備できません。自分で準備して使用する場合で、電源 (コンセント) を必要とする時は「コンセント使用希望」と記入すること。
- ※ 申告内容を踏まえて日時と会場などの振り分けを行い、特色検査 (パーソナルプレゼンテーション) の日時を令和4年2月24日 (木) に本校ホームページで発表します。

(参考資料)

(令和4年度前期特色選抜用)

パーソナルプレゼンテーション (PP) について

福島県立光南高等学校

分野	教科	内 容	具 体 的 内 容 及 び 注 意 点	実 施 例
言語表現	国語	・作文、創作の発表	○創作の発表例として作文や感想文、紀行文、自作小説、詩、俳句等がありますがジャンルは問いません。 ・原稿用紙に手書きあるいはパソコン等で作成した作文等を発表。	・作文発表 ・紀行文発表 ・感想文発表 ・創作物語発表 ・詩発表
	英語	・英語スピーチ、英会話	○英語のスピーチ (創作文等) 原稿を利用してもかまいません。 ○簡単な日常英会話	・英語スピーチ (将来の夢、部活動、文化祭、修学旅行、自己紹介、ホームステイ、中学校生活での一番思い出) ・英語の歌 (ロンドンデリー)
	その他	・その他	○上記以外で言語表現に関する発表。	・般若心経 ・応援エール ・百人一首
研究発表	数学	・研究発表	○自分で設定した内容に関する発表。 ・発表に必要な資料・工作等は、必ず自分でまとめ、当日持参して下さい。 ・写真や図、冊子など発表に必要な物を資料として準備して下さい。 ・自分の実績等を示したいときは、賞状などを発表に使用してもかまいません。	・数学研究発表 (数学の歴史、関数について、確率について) ・理科研究発表 (ゴミの減量、地球温暖化) ・社会科研究発表 (戊辰戦争における白河藩の対応、ハザードマップ、矢吹町の行政サービス)
	理科	・実験発表		・社会科体験発表 ・ボランティア活動発表、手話、介護技術発表 ・ホームステイ体験発表 ・生徒会体験発表 ・旅行体験発表 ・指人形発表 ・絵本発表
	社会	・発表工作発表 ・ボランティア活動発表 ・海外生活体験発表 ・特別活動発表 ・部活動発表 ・旅行発表 ・その他		・文化祭成果発表 ・登山体験発表 ・紙芝居発表 ・部活動体験発表 ・演劇発表
芸術表現	音楽	・器楽 ・声楽 ・作曲作品 ・シンセサイザー作品 ・その他	○ピアノ・シンセサイザー・持参できる管弦打楽器、その他の楽器の独奏または独唱。 ・曲目は自由です。 ・伴奏者は認めません。 ・作品または伴奏などは、CDなどに録音して持参して下さい。CDプレーヤー等は持参して下さい。 ・楽器を演奏する場合、申告用紙の「内容」に演奏する楽器が分かるように記入して下さい。	・[ピアノ、シンセサイザー、管弦打楽器、和楽器等]の演奏 ・[ピアノ、ギター等]の弾き歌い ・独唱 (ソプラノ、アルト、テナー、バス等) ・作曲作品演奏 ・DTM演奏 ※DTM=パソコンによるデスクトップミュージック
	美術	・美術作品の制作 ・美術作品の紹介 ・その他美術に関する研究発表	A制作 (スケッチ等) をその場で行う。 B芸術家の作品を紹介する。 C自分の作品を紹介する。 ・Cの持参する作品は、中学校在学中に制作したものとする (授業時の作品でも授業時以外の作品でもよい)。 ・作品の数は複数でもよい。 ・A～Cの内容は重複してもよい。	・美術作品の制作 ・美術作品の紹介 (絵画、自画像、漫画、風景画、水彩画、デザイン、彫刻、塑像、写真、ポスター、切り絵、デッサン、油絵、レリーフ、点描画、イラスト、版画、CG作品、ちぎり絵、映像作品)
	書道	・習字 ・ペン字 ・その他	○申告用紙に取得級・段を記入して下さい。 ○自由に書き表現して下さい。 ・道具は各自持参して下さい。	・書写 ・書道作品の紹介
スポーツ表現	保健体育	・各種競技 ・その他	○陸上競技 (50m走・800m走・砲丸投げ等)。 ○ハンドボール (ランニングパス・シュート等)。 ○柔道 (受身・乱取等)。 ○ソフトボール (キャッチボール・バッティング等)。 ・外用シューズも準備して下さい。 ○他の種目においても、以上の内容に準ずる実技を実施 ・実技に必要な服装・準備をして下さい。 ・実技は屋内 (体育館・武道場・ビニールハウス) で実施しますので、施設・季節等の関係で実施できない種目もあります。 ・短距離走は直線コースではありません。 (その他、実施できるかどうかは本校で判断します。)	・陸上競技 ・ソフトボール ・バレーボール ・バドミントン ・空手 ・創作ダンス ・心肺蘇生法 ・新体操 ・バスケットボール ・卓球 ・剣道 ・バントワリング ・ハンドボール ・応急処置 ・器械体操 ・サッカー ・ソフトテニス ・柔道 ・ジャズダンス ・スキートレーニング
	家庭	・調理 ・被服、その他 (実技・発表)	○調理 ・調理20分 (準備、後片付けを含む) を一斉に行った後、個別にP.Pを実施します。 ○被服、その他 (実技・発表) ・自作の作品を持参し、発表してもかまいません。	・調理 (高齢者向け献立、魚の三枚おろしとお造り、郷土料理、地産地消の食材を使った調理、お弁当、オムライス、花寿司、餃子、飾り切り等) ・基礎縫い・手芸・編み物・着付け ・フラワーアレンジメント ・被服作品紹介 (日常服・子ども服等)
	商業	・パソコン ・珠算、電卓	○自分で作成したプログラムを披露、又はプリンタで印刷したものの発表。 ○ワープロソフトによる文章作成速度、正確さ等の披露 ・問題は各自用意して下さい。 ・ノートPC等は持参して下さい。 ○申告用紙に取得級・段を記入して下さい。記入した資格に応じた問題で実技を行って下さい。 ・そろばん又は電卓の問題は各自持参して下さい。	・パソコン実演 ・自作ホームページ紹介 ・ワープロソフトによる文章作成 (速度、正確さ) ・珠算 (伝乗算・乗除算・見取り算等) ・電卓 (伝乗算・乗除算・見取り算等) ・暗算 (乗除算・見取り算等)

※上記の内容は参考であり、表にない内容でもかまいません。

※PPはパーソナルプレゼンテーションの略です。

※パーソナルプレゼンテーション申告用紙の「内容」欄は、「実施例」を参考に簡潔に記入してください。

また、「実施例」内に () で示したような詳細は、パーソナルプレゼンテーション申告用紙の「詳細」欄内に記入してください。

※実施時間は、準備・PP・後片付けを含め1人7分以内です (食品の調理を行う場合を除く)。

※PPの後に、PPに関する質疑を行います。

※第1体育館は縦42m×横32mです。

※「野球」に関する実技を行う場合は基本的にビニールハウス (縦27m×横9m) で行います。 (外用シューズを準備してください。)

※新型コロナウイルス感染症対策を行って実施します。そのため、PPの申告の内容を中学校を通して確認する場合があります。

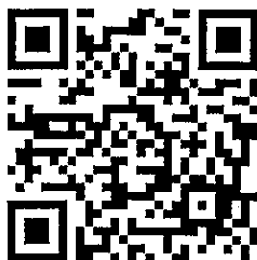
× 毛



光南高等学校 令和4年度入試要項説明会 アンケート

以下のQRコードを読み取り、アンケートへのご回答をお願いいたします。

(中学生用)



(保護者・引率者用)



本日はご参加いただきありがとうございました。